【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】平成20年10月23日(2008.10.23)

【公開番号】特開2006-288400(P2006-288400A)
【公開日】平成18年10月26日(2006.10.26)
【年通号数】公開・登録公報2006-042
【出願番号】特願2006-167465(P2006-167465)
【国際特許分類】
Ｃ１２Ｎ　15/09　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　9/22　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　1/15　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　1/19　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　1/21　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　5/10　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ１２Ｎ　15/00　ＺＮＡＡ
Ｃ１２Ｎ　9/22
Ｃ１２Ｎ　1/15
Ｃ１２Ｎ　1/19
Ｃ１２Ｎ　1/21
Ｃ１２Ｎ　5/00　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成20年9月4日(2008.9.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
下記の群より選択され、かつ、耐熱性リボヌクレアーゼＨ活性を有することを特徴とするポリペプチド：
（ａ）配列表の配列番号４７、５７、５９、９又は１７のいずれか１つに示されるアミノ酸配列を有するポリペプチド；
（ｂ）配列表の配列番号４７、５７、５９、９又は１７のいずれか１つに示されるアミノ酸配列において、少なくとも１つのアミノ酸残基の欠失、付加、挿入又は置換を有するポリペプチド；
（ｃ）配列表の配列番号４７、５７、５９、９又は１７のいずれか１つに示されるアミノ酸配列と少なくとも７１％の相同性を有するアミノ酸配列を有するポリペプチド；
（ｄ）配列表の配列番号４６、５６、５８、８又は１６のいずれか１つに示される塩基配列を有する核酸、当該核酸又はその相補鎖とストリンジェントな条件下にハイブリダイズしうる核酸にコードされるポリペプチド。
【請求項２】
下記の群より選択され、かつ、耐熱性リボヌクレアーゼＨ活性を有するポリペプチドをコードする核酸：
（ａ）配列表の配列番号４７、５７、５９、９又は１７のいずれか１つに示されるアミノ酸配列を有するポリペプチドをコードする核酸；
（ｂ）配列表の配列番号４７、５７、５９、９又は１７のいずれか１つに示されるアミノ

酸配列において、少なくとも１つのアミノ酸残基の欠失、付加、挿入又は置換を有するポリペプチドをコードする核酸；
（ｃ）配列表の配列番号４６、５６、５８、８又は１６のいずれか１つに示される塩基配列を有する核酸；
（ｄ）配列表の配列番号４６、５６、５８、８又は１６のいずれか１つに示される塩基配列において、少なくとも１つの塩基がアミノ酸配列に翻訳される形での欠失、付加、挿入又は置換を有する塩基配列からなる核酸；
（ｅ）前記（ｃ）記載の核酸又はその相補鎖とストリンジェントな条件下にハイブリダイズしうる核酸；
（ｆ）配列表の配列番号４６、５６、５８、８又は１６のいずれか１つに示される塩基配列に少なくとも６９％の相同性を有する塩基配列である核酸。
【請求項３】
請求項２記載の核酸を含んでなる組換えＤＮＡ。
【請求項４】
請求項３記載の組換えＤＮＡにより形質転換されてなる形質転換体。
【請求項５】
請求項４記載の形質転換体を培養し、該培養物中より耐熱性リボヌクレアーゼＨ活性を有するポリペプチドを採取することを特徴とする耐熱性リボヌクレアーゼＨ活性を有するポリペプチドの製造方法。
【請求項６】
プラスミドｐＴＬＩ２０４（ＦＥＲＭ　ＢＰ－７６９３として寄託）、ｐＴＣＥ２０７（ＦＥＲＭ　ＢＰ－７６９４として寄託）、ｐＴＭ－ＲＮＨ（ＦＥＲＭ　ＢＰ－７６５２として寄託）、ｐＲＨＢ１１（ＦＥＲＭ　ＢＰ－７６５５として寄託）又はｐＢＣＡ３Ｎｄ２（ＦＥＲＭ　ＢＰ－７６５３として寄託）のいずれか１つを導入した形質転換体を培養して得られる、耐熱性リボヌクレアーゼＨ活性を有するポリペプチド。